

生涯学習・社会教育関係職員研修講座

「新任職員研修〈前期〉」

5月27日(木)県総合社会教育センター 受講者22名

この事業は、「生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上のため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と、人材育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る」ことをねらいとしております。

今回の講座では、主に社会教育行政に初めて携わる方を対象とし、その名も「社会教育 きほんの『き』」と題して実施しました。

講師は、弘前大学 教育学部 准教授 越村 康英 氏。

越村氏は、2001年度より11年間にわたり社会教育指導員として東京都大田区教育委員会や北区教育委員会に勤務され、区民大学、日本語教室、家庭教育学級、ジュニアリーダー研修会などの事業を御担当され、社会教育行政の経験が豊富です。また他にも、浦安市公民館運営審議会委員、八千代市公民館運営審議会委員長、白井市生涯学習推進委員会委員長、浦安市図書館協議会委員、千葉県公民館連絡協議会特別研究委員なども務め、今年度4月からは弘前市社会教育委員の委嘱を受けていらっしゃいます。

具体的・実践的な内容に、受講者の全員が学びの満足を示した講義・演習について、一部紹介します。



講義・演習「社会教育 きほんの『き』」

講師 弘前大学 教育学部 准教授 こし むら やす ひで 越 村 康 英 氏

講義要旨

- 社会教育の主体（主人公）は、「地域の住民」である。
- 社会教育職員の仕事は、「教えること」ではなく、「主体的な学習活動のための条件を整備し、支援すること」である。
- 社会教育における学習テーマは、「住民の生活や、その基盤である地域・社会」の中に存在する。
- 社会教育には、「住民の生活や、その基盤である地域・社会」をよりよい方向へ変革するチカラがある。

越村先生の御講義は、まず、ご自身が新任職員だった頃のお話から始まりました。参加者の多くが、新任職員であることから、その不安や悩みに寄り添うように、柔らかな口調でご自身の経験をお話してくださいました。「事業の企画・運営はどのようにするのか」、「団体・サークル等とはどのように関わるのか」等の悩みに、受講者も「自分も同じだ」と感じたらしく、場は一気に和みました。

続いて、受講者に「社会教育とは何か」、「生涯学習とは何か」と問いかけました。

こちらをお読みのみなさんは、この問いにどうお答えになりますか。



越村氏は、まず領域的な整理として、「学校において行われる学習活動」「社会において行われる学習活動」「家庭において行われる学習活動」、更には「偶発的な学び」との関連から生涯学習を説明しました。

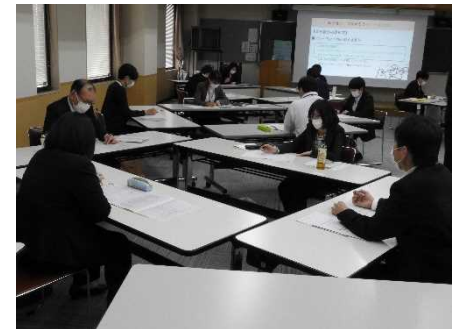
また、時間軸に沿って整理することでも、生涯学習というものを明確し、そのわかりやすさは、下の【受講者の声】にあるとおりです。

このように、越村氏の御講義は、受講者に社会教育業に携わる者が抱える疑問や曖昧になりがちなところをズバッと切り抜き、法的解釈などから明確にしてくださるものでした。

こちらをお読みのみなさんは、次の問いにどうお答えになりますか。

- ・「社会教育」における「教育主体」は誰ですか？
- ・「社会教育」における「国」「地方公共団体」の役割は何ですか？

答えをお知りになりたい方は、是非、越村先生の御講義をお聞きください。



午後は、演習として参加者が4人で1グループとなり、「新任職員の期待と不安」として、ざっくばらんに意見交流を行いました。

講師より事前に「自分が担当する事業などについてのチラシを持ってきましょう。」との連絡があり、参加者はそれを提示しながら、仕事を進める上での「期待」と「不安」を出し合いました。

自分の抱えている不安は自分だけのものではないこと、社会教育は大きな力を有していることなどを、参加者全員で確認できた時間となりました。

(受講者の感想)

- ・ 社会教育を法的解釈のもとで、理解することができたとともに、事業実施に向けた具体的な方策を知ることができ、有意義な時間を過ごすことができた。どうもありがとうございました。
- ・ 社会教育というものがうまくつかめていなかったのですが、越村先生の説明がとてもわかりやすく、どのようなものなのかが理解できました。大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 社会教育法に触れられて良かった。しっかり読みたいと思った。社会教育には長く携わりたい気持ちになった。モチベーションが上がった。
- ・ 2年目ですが、まだ分からないことだらけで、今日のように話すことで新しい発見があり、勉強になりました。
- ・ 社会教育とは何かという基本的だがわかりにくいことを学ぶことができ、他の市町村の職員の方々がどんな期待や不安をもっているのかが共有でき、とても勉強になった。

この新任職員研修は、後期研修として10月12日、NPO 法人日本人財発掘育成協会 理事長 坂本 徹 氏を講師に、「生涯学習・社会教育関係職員の役割」と題した講義・演習を行います。

こちらの講座も、ぜひご注目ください。